

かめのり大学院留学アジア奨学生

## 月次報告レポート

(2020年10月)

### ・勉学・研究の進捗状況

今学期、社会言語学研究演習という大学院の授業でTAを担当することになった。今月の授業の内容には、指標性や言語政策と国民アイデンティティなどについて取り上げられた。特に言語政策と国民アイデンティティは大変面白いトピックだと思う。それは、言語政策によって、国民アイデンティティがどのように形成されることについてである。この観点では、国家・国民・言語のそれぞれが関連しており、国民アイデンティティの形成につながっている。例えば、日本の場合は、国語・公用語が日本語であり、学校では国語の授業がある。日本人は日本の国民なので、日本語（標準語）ができること暗示的に強制されていることと解釈できる。このように国語・公用語が統一されると、標準語が主に使用されている。このように言語を通して、日本人の国民アイデンティティが形成されていると考えられる。一方、国語・公用語が統一されたことで、方言の方がよく使用している日本人や、在日しているが、日本語ができない外国人にとっては、少しでも葛藤の気持ちを持たせる可能性もあると考えられる。タイも日本と同様に国語・公用語がタイ語の標準語であり、方言は地方それぞれ使用されている言語である。標準語は国語・公用語としてより優先されているが、方言についても考慮すべきだと思う。それは、国民アイデンティティだけではなく、個人アイデンティティにもつながるからである。

### ・生活について

今月は、秋田県仙北市の観光PRのアルバイトで秋田県の角館と田沢へ取材に行ってきた。タイ人向けに発信するために、角館の武家屋敷、田沢湖、乳頭温泉、玉川温泉などに行ってきた。今回、秋田に行くことが初めてなので、とても楽しみにしていた。取材の中で最も楽しかったのは、きりたんぼ体験である。きりたんぼ体験を通して、秋田米の美味しさ、日本のお米の文化など様々な気づきがあった。きりたんぼは、鍋に入れて食べることが主流と聞いたが、今回は味噌をつけるものを作って食べた。きりたんぼと味噌の味がとても合うので、飽きずに最後まで美味しく食べた。特に味噌に焼き目がついている部分が本当に美味しかった。タイでもきりたんぼに似ている料理があって、それは「カオジー」という料理である。カオジーはもち米を使って、塩で味付けしたり、卵を付けたりして焼くものである。きりたんぼを食べたら、少しカオジーを食べたくなる気持ちがあった。また、秋田に行った時は、乳頭温泉と玉川温泉の紅葉がちょうど見頃なので、露店風呂に入りながら、紅葉を眺めることができた。やはり東北の紅葉は非常に綺麗だと改めて実感した。

